

Ⅱ 職員の健康管理

Ⅱ 職員の健康管理

一般定期健康診断については、山口大学職員労働安全衛生規則第26条に基づいて年1回の実施している。また、労働安全衛生規則第13条あるいは労働安全衛生法施行令第22条に掲げる業務に常時従事している職員(特定業務あるいは特殊業務従事者)に対しては、6ヵ月(半年)ごとに健康診断を実施している。

1. 定期健康診断

1) 対象と概要

職員の健康診断は、山口市(吉田地区<附属小・中学校、幼稚園、特別支援学校を含む>)、宇部市(常盤地区・小串地区)、光市(光地区<附属小・中学校>)の大きく4地区に分けて実施している。

本学で実施している定期一般健診の検査項目と各項目の対象者を表1に示した。○印は全員が行う項目(必須項目)、△印は必須項目ではないが検査を希望する者あるいは医師が必要と認めた者に行う項目を表す。

職員の定期健康診断は、安全衛生対策室が実施主体であるが、基本健診の実施計画立案や外部検査機関との調整は保健管理センターが行っている。大まかな役割分担としては、実施通知や受診対象者の把握、健康診断問診票の事前配付及び結果報告書配付などの事務的な作業は安全衛生対策室が担当し、健康診断実施に関する実働的な作業(検査物品の調達・準備や健診会場の設営、健康診断結果の整理・判定作業、結果通知報告書作成など)は、保健管理センターが担当している。2018年度から光地区の実施方法が健診委託業者による学内実施に変更された。2019年度には外部委託医療機関で実施していた雇用時健診を健診委託業者による学内実施に変更することで、受診者の利便性の向上・雇用時健診費用の削減が図られた。

表1 各検査の対象者および検査項目

検査項目	対象者区分				備考	
	34才以下	35才	36～39才	40才以上		
基本健診	身体計測(BMI)	○	○	○	○	
	血圧検査	○	○	○	○	
	尿検査	○	○	○	○	蛋白、糖、潜血
	胸部X線検査	○	○	○	○	間接撮影 ※2019年～デジタル撮影
	聴力検査	○	○	○	○	
	視力検査	○	○	○	○	
	腹囲計測	—	○	—	○	BMI20未満の人は省略可
	心電図検査	—	○	—	○	
	血液検査	△	○	△	○	末梢血(WBC、RBC、Hb、Ht) 肝機能(AST、ALT、γ-GT) 脂質(LDL・HDLコレステロール、中性脂肪) その他(血糖、尿酸、血清アミラーゼ、 総コレステロール、血小板、クレアチニン)
	内科診察	○	○	○	○	自覚症状・他覚症状、既往歴、 業務歴等問診票に基づく問診
※ 肺がん検診	—	—	—	△	胸部X線(間接)、喀痰検査	
※ 大腸がん検診	—	—	—	△	便潜血反応検査(2日法)	
※ 前立腺がん検診	△	△	△	△	※2017年から一般定期健康診断と同時実施	
※ 胃がんリスク検診	△	△	△	△	※2017年から一般定期健康診断と同時実施	

2020 年度及び 2021 年度の各地区の定期健康診断時期及び実施場所は表 2 の通りであった。

表 2 各地区の実施日および実施場所

	地区名	実施時期	実施場所
2020 年度	吉田	雇用時健診:4/3(金) * 受付:8:00~12:00	大学会館、事務局 1 階(リフレッシュルーム) ※健診委託業者により健診実施 ※個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター
		一般定期健診:7/21(火)~7/31(金) * 受付:9:00~12:00 ※附属学校(・幼・小・中学校・特別支援学校)含む ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診	保健管理センター
	小串	雇用時健診:4/7(水)~4/8(木) ※ 常盤地区雇用者含む * 受付:8:00~11:30、13:00~17:00	医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※健診委託業者により健診実施 ※個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター
		一般定期健診:9/8(火)~17(木) * 受付:9:00~12:30、13:30~16:00 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診	医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※胸部 X 線検診車:1~2 日目 1 台、3~8 日目は 2 台体制 ※最終日は午前中(9:00~12:30)のみ
	常盤	一般定期健診:8/19(水).20(木)24(月) * 受付:9:00~12:30 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診	工学部保健室(保健管理センター常盤分室)
光	一般定期・雇用時健診:4/6(月) * 受付:8:30~11:00 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診	附属光中学校保健室 ※健診委託業者により健診実施 ※結果判定・通知作業は保健管理センター	
2021 年度	吉田	雇用時健診・附属学校(・幼・小・中学校・特別支援学校)一般定期健診同時期実施:4/2(金) * 受付:8:30~12:00 13:30~15:30 ※がん検診(大腸・肺) 前立腺がん、胃がんリスク検診:吉田一般定期健診と同時実施	大学会館、事務局 1 階(リフレッシュルーム) ※健診委託業者により健診実施 ※個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター
		一般定期健診:7/20(火)~7/30(金) * 受付:9:00~12:00 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診	保健管理センター
	小串	雇用時健診:4/7(水)~4/8(木) ※ 常盤地区雇用者含む * 受付:8:00~11:30、13:00~17:00	医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※健診委託業者により健診実施 ※個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター
		一般定期健診:9/7(火)~16(木) * 受付:9:00~12:30、13:30~16:00 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診	医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※全日程胸部 X 線検診車 2 台体制
	常盤	一般定期健診:8/19(木).20(金)23(月) * 受付:9:00~12:30 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診	工学部保健室(保健管理センター常盤分室)
光	一般定期健診・雇用時健診:4/6(火) * 受付:8:30~11:00 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診	附属光中学校保健室 ※健診委託業者により健診実施 ※結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター	

2) 受診状況

(1) 職員健康診断概況

2019年12月に新型コロナウイルス感染症が発生し、2020年1月15日に日本で最初の新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されたため、職員健康診断での感染拡大防止対策として、大幅に健診の体制を変更することになった。受付時には体温チェックや緊急事態宣言地域からの帰着などの聞き取りや胸部 X線車に入る前の手指消毒など必要となったため、雇用も増員せざるを得ない状況であった。また、診察は聴診が必要となるため、接触を避ける目的と診察の待ち時間での混雑をさけるため、当日の診察は実施しないこととし、医師の判断で受診が必要な人や診察希望者は後日受診してもらう形とした。聴力に関しても、健診時の混雑緩和の為、これまで全職員に実施していたものを、若年者は会話法でも可能とし、尿検査も当日の健診受診時に尿検体を出してもらい検査していたものを、全職員に事前にピーポールを配布して当日尿を持参してもらうなどの対応を実施した。感染拡大防止のため、受診者には体温チェックの際に合わせて手指消毒を実施し、検査機器に触れる前の受付時にも手指消毒を実施してもらった。視力・聴力と心電図に関しては、特に感染対策に留意しながら消毒など徹底して行った。検査する側の雇用者にもマスク、ゴーグルや透明アクリル板などを使用してもらい、感染防止に努めた。

2021年度も新型コロナウイルス感染症は終息することがなく、健診受診時の混雑緩和のため、吉田地区と常盤地区は受診時間を予約制とし Web 予約を導入した。予約制としたことで、受診時の混雑を緩和することができ、受診者からも好評であったため、今後も引き続き予約制は実施していくこととなった。2020年度は対象者をしばった診察としたが、吉田地区と常盤地区は Web 予約を導入することで、小串地区は医師 2 名体制であった診察を 3 名体制とすることで混雑緩和できるのではないかと予測のもと、全職員を診察対象とし、混雑することはなく実施することができた。

以下に 2020 年度及び 2021 年度の職員健康診断受診状況を表 3、4 に示した。受診者は、保健管理センターで受診した者の他に、雇入時健康診断、人間ドック、その他健康診断の結果を提出した者の総数である。

職員健康診断の受診義務及び未受診者への措置が明記されたことで、健康診断受診の意識は高まり、2017 年度ついに 100% を達成した後、2018 年度、2019 年度は 100% には至らなかったが 2020 年度は再び 100% を達成した。2021 年度は 1 名ほど人間ドックを受診する予定で結果を待っていたものの、受診者が新型コロナウイルス感染症流行もあり、受診することができず 1 名が未受診となった。

また、健診受診者の事後措置に対するフォローアップを充実させるため、要精査以上の判定区分であった者に対し、二次検査結果の報告を求めることとしている。二次健康診断等給付についても全職員にメールで積極的にアナウンスし、二次精査受診を促している。二次検査結果報告の義務は定めておらず、就業上の配慮について検討するため、要医療及び要治療判定区分であった者にはより強く、要精査判定区分であった者には、できる限り報告するよう協力と理解を求めている。2017 年度より二次精査受診を促進するために受診においては、職務専念義務免除を適応している。今後は、さらなる受診率の維持、向上を図るとともに、健診後のフォローアップについても充実させ、山口大学全体の心身の健康状態を高めるよう働きかけていく必要がある。

表3 職員健康診断受診状況（2020年度）

令和3年3月現在

部 局	定期健診対象者数 (A)	定期健診受診者数 (B)	定期健診受診者数内訳		受診率 (B/A)	未受診者数 (A-B)	備考
			保健管理センター受診	他受診			
人文学部	55	55	40	15	100.0%	0	
教育学部	109	109	78	31	100.0%	0	
教育学部附属山口小学校	29	29	4	25	100.0%	0	
教育学部附属山口中学校	28	28	10	18	100.0%	0	
教育学部附属特別支援学校	36	36	24	12	100.0%	0	
教育学部附属幼稚園	12	12	6	6	100.0%	0	
教育学部附属光小学校	28	28	0	28	100.0%	0	
教育学部附属光中学校	18	18	0	18	100.0%	0	
経済学部 東アジア研究科	90	90	68	22	100.0%	0	
理学部	79	79	61	18	100.0%	0	
医学部小串地区	562	562	498	64	100.0%	0	
附属病院	1,487	1,487	1,235	252	100.0%	0	
工学部技術経営研究科 常盤地区	352	352	275	77	100.0%	0	
農学部	54	54	41	13	100.0%	0	
共同獣医学部	89	89	68	21	100.0%	0	
国際総合科学部	32	32	20	12	100.0%	0	
学長室	10	10	5	5	100.0%	0	
内部監査室	6	6	5	1	100.0%	0	
総務課	15	15	6	9	100.0%	0	
人事課	50	50	41	9	100.0%	0	
企画・評価課	6	6	2	4	100.0%	0	
地域連携課	11	11	5	6	100.0%	0	
情報企画課	13	13	11	2	100.0%	0	
財務課	27	27	23	4	100.0%	0	
契約課	20	20	19	1	100.0%	0	
施設環境部	22	22	17	5	100.0%	0	
教育支援課	27	27	20	7	100.0%	0	
学生支援課	30	30	21	9	100.0%	0	
入試課	9	9	8	1	100.0%	0	
国際交流課	15	15	14	1	100.0%	0	
大学研究推進機構時間学研究所 学術研究部吉田	36	36	27	9	100.0%	0	
学術基盤部 吉田	26	26	25	1	100.0%	0	
計	3,383	3,383	2,677	706	100.0%	0	

定期健診受診者内訳欄の項目「他受診」は、人間ドック、雇入時健康診断、海外派遣時健診、他医療機関等を受診し、健診結果を受領した人数である。

長期出張、病気休業・育児休業中等の理由があつて受診できない者は、定期健診対象者から除いている。

定期健診受診者内訳欄の項目「他受診」は、人間ドック、雇入時健康診断、海外派遣時健診、他医療機関等を受診し、健診結果を受領した人数を示している。

長期出張、病気休業・育児休業中等の理由があつて受診できない者は、定期健診対象者から除いている。

表4 職員健康診断受診状況(2021年度)

令和4年3月31日現在

部 局	定期健診対象者数(A)	定期健診受診者数(B)	定期健診受診者数内訳		受診率(B/A)	未受診者数(A-B)	備 考	
			保健管理センター受診	他受診				
人文学部	52	52	39	13	100.0%	0		
教育学部	104	104	74	30	100.0%	0		
教育学部附属学校園	156	156	32	124	100.0%	0		
教育学部附属山口小学校	24	24	1	23	100.0%	0		
教育学部附属山口中学校	28	28	19	9	100.0%	0		
教育学部附属特別支援学校	36	36	1	35	100.0%	0		
教育学部附属幼稚園	11	11	11		100.0%	0		
教育学部附属光小学校	35	35	0	35	100.0%	0		
教育学部附属光中学校	22	22	0	22	100.0%	0		
経済学部 東アジア研究科	84	84	62	22	100.0%	0		
理学部	77	77	63	14	100.0%	0		
医学部	509	509	450	59	100.0%	0		
附属病院	1,540	1,539	1,275	264	99.9%	1		
工学部技術経営研究科	262	262	193	69	100.0%	0		
農学部	41	41	29	12	100.0%	0		
共同獣医学部連合獣医学研究科	87	87	72	15	100.0%	0		
国際総合科学部	34	34	26	8	100.0%	0		
学長室・内部監査室総務企画部情報基盤センター	126	126	82	44	100.0%	0		
学長室	10	10	6	4	100.0%	0		
内部監査室	6	6	3	3	100.0%	0		
総務課	17	17	10	7	100.0%	0		
人事課	56	56	37	19	100.0%	0		
企画・評価課	6	6	4	2	100.0%	0		
地域連携課	12	12	6	6	100.0%	0		
情報企画課(吉田) 情報基盤センター	(12)	(12)	(9)	(3)	100.0%	(0)		
情報企画課(常盤) 情報基盤センター	6	6	6	0	100.0%	0		
情報企画課(小串) 情報基盤センター	1	1	1	0	100.0%	0		
情報企画課情報基盤センター	19	19	16	3	100.0%	0		
財務部	49	49	40	9	100.0%	0		
財務課	29	29	20	9	100.0%	0		
契約課	20	20	20	0	100.0%	0		
施設環境部	23	23	16	7	100.0%	0		
教育支援課	29	29	23	6	100.0%	0		
学生支援課	30	30	17	13	100.0%	0		
入試課	10	10	6	4	100.0%	0		
国際交流課	14	14	10	4	100.0%	0		
教育・学生支援機構 学生支援部	吉田	83	83	56	27	100.0%	0	
	小串	4	4	4	0	100.0%	0	
	常盤	5	5	5	0	100.0%	0	
教育・学生支援機構学生支援部	92	92	65	27	100.0%	0		
大学研究推進機構時間学研究所学術研究部	115	115	98	17	100.0%	0		
大学研究推進機構 時間学研究所 学術研究部	吉田	(42)	(42)	(32)	(10)	100.0%	(0)	
	小串	42	42	38	4	100.0%	0	
	常盤	31	31	28	3	100.0%	0	
学術基盤部	吉田	25	25	22	3	100.0%	0	
	小串	4	4	4	0	100.0%	0	
	常盤	4	4	4	0	100.0%	0	
学術基盤部	33	33	30	3	100.0%	0		
総合技術部	吉田	15	15	15	0	100.0%	0	
	小串	5	5	4	1	100.0%	0	
	常盤	27	27	26	1	100.0%	0	
総合技術部	47	47	45	2	100.0%	0		
計	3,431	3,430	2,691	739	100.0%	1		

()書きは、当該部局の内数

速報値は、学内で実施した一般定期職員健康診断(7月～9月)を受診し、健診結果通知を行った時点での受診者数を示している。

定期健診受診者内訳欄の項目「他受診」は、人間ドック、雇入時健康診断、海外派遣時健診、他医療機関等を受診し、健診結果を受領した人数を示している。

長期出張、病気休業・育児休業中等の理由があつて受診できない者は、定期健診対象者から除いている。

(2) 体格 (BMI)

2020 年度及び 2021 の BMI 値による判定結果を表 5、6 に示した。

事業場別にみても、2020 年度及び 2021 年度ともに正常範囲であった者は、附属学校は母数が少ないこともあり、2021 年度男性約 5 割、女性は約 9 割となっており、他の事業場は約 6~7 割程度みられている。男女別に見ると、2020 年度も 2021 年度も男性の方が肥満の割合が高く、女性は肥満の割合が低い傾向がある。

表 5 BMI (体格) 判定結果 (事業場別)

2020 年度

事業場	受検者数		判定結果区分 (%)											
			やせ		正常		肥満1度		肥満2度		肥満3度		肥満4度	
吉田	男	382	15	3.9%	250	65.4%	105	27.5%	10	2.6%	2	0.5%	0	0.0%
	女	248	56	22.6%	156	62.9%	25	10.1%	8	3.2%	3	1.2%	0	0.0%
常盤	男	175	4	2.3%	118	67.4%	46	26.3%	6	3.4%	1	0.6%	0	0.0%
	女	90	16	17.8%	62	68.9%	10	11.1%	2	2.2%	0	0.0%	0	0.0%
小串・附属病院	男	592	25	4.2%	395	66.7%	140	23.6%	30	5.1%	1	0.2%	1	0.2%
	女	1223	214	17.5%	852	69.7%	119	9.7%	28	2.3%	8	0.7%	2	0.2%
附属学校	男	14	0	0.0%	9	64.3%	4	28.6%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%
	女	30	3	10.0%	21	70.0%	6	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	男	1163	44	3.8%	772	66.4%	295	25.4%	47	4.0%	4	0.3%	1	0.1%
	女	1591	289	18.2%	1091	68.6%	160	10.1%	38	2.4%	11	0.7%	2	0.1%
	合計	2754	333	12.1%	1863	67.6%	455	16.5%	85	3.1%	15	0.5%	3	0.1%

表 6 BMI (体格) 判定結果 (事業場別)

2021 年度

事業場	受検者数		判定結果区分 (%)											
			やせ		正常		肥満1度		肥満2度		肥満3度		肥満4度	
吉田	男	380	11	2.9%	251	66.1%	106	27.9%	10	2.6%	2	0.5%	0	0.0%
	女	241	60	24.9%	148	61.4%	23	9.5%	8	3.3%	2	0.8%	0	0.0%
常盤	男	172	4	2.3%	109	63.4%	50	29.1%	7	4.1%	2	1.2%	0	0.0%
	女	92	13	14.1%	70	76.1%	5	5.4%	4	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
小串・附属病院	男	584	29	5.0%	398	68.2%	128	21.9%	27	4.6%	1	0.2%	1	0.2%
	女	1244	236	19.0%	861	69.2%	107	8.6%	31	2.5%	7	0.6%	2	0.2%
附属学校	男	11	2	18.2%	5	45.5%	4	36.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	女	9	1	11.1%	8	88.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	男	1147	46	4.0%	763	66.5%	288	25.1%	44	3.8%	5	0.4%	1	0.1%
	女	1586	310	19.5%	1087	68.5%	135	8.5%	43	2.7%	9	0.6%	2	0.1%
	合計	2733	356	13.0%	1850	67.7%	423	15.5%	87	3.2%	14	0.5%	3	0.1%

(3) 血圧測定

2020年度及2021年度の血圧測定結果を表7、8に示した。

男女別にみると、各年度ともに、概ね8割以上の方は適正血圧に該当しているものの、男性と比較して女性の方が適正血圧の割合が多く、適正血圧を超えると、逆転して男性の比率が高くなる傾向がみられた。血圧値は、測定手順や測定環境の影響を少なからず受けることが考えられるため、健康診断時には服装や測定のタイミング、室温や緊張感を与えない雰囲気等の環境づくりにも配慮する必要がある。小串・附属病院地区では健診会場が2階にあるため、1階にエレベーターを使用についてのアナウンスをする等の配慮をしている。

表7 血圧判定結果(事業場別)

2020年度

事業場	受検者数		所見内訳					指導区分	
			低血圧	適正血圧	高血圧傾向	軽症高血圧	高血圧	有所見者	要管理者
								d2以上	c1以上
吉田	男	382	2	297	43	20	20	85	20
	女	248	0	230	9	6	3	18	3
常盤	男	175	0	147	8	7	13	28	13
	女	90	4	81	4	1	0	9	0
小串・附属病院	男	592	0	490	52	22	28	102	28
	女	1223	18	1110	49	23	23	113	23
附属学校	男	14	0	13	0	1	0	1	0
	女	30	0	29	0	1	0	1	0
合計	男	1163	2	947	103	50	61	216	61
	女	1591	22	1450	62	31	26	141	26
	計	2754	24	2397	165	81	87	357	87

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

表8 血圧判定結果(事業場別)

2021年度

事業場	受検者数		所見内訳					指導区分	
			低血圧	適正血圧	高血圧傾向	軽症高血圧	高血圧	有所見者	要管理者
								d2以上	c1以上
吉田	男	380	1	303	40	19	17	77	36
	女	241	0	225	12	2	2	16	4
常盤	男	172	0	128	24	2	18	44	20
	女	92	1	89	0	2	0	3	2
小串・附属病院	男	584	2	489	54	19	20	95	39
	女	1244	21	1119	51	27	26	125	53
附属学校	男	11	0	10	1	0	0	1	0
	女	9	1	8	0	0	0	1	0
合計	男	1147	3	930	119	40	55	217	95
	女	1586	23	1441	63	31	28	145	59
	計	2733	26	2371	182	71	83	362	154

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

(4)尿検査

2020年度及び2021年度の尿検査結果を表9、10に示した。2019年度より、労働基準監督署に報告が必要である蛋白尿と尿糖についての有所見者及び要管理者を示した。2020年度の蛋白尿の有所見者の割合は1～2割程度である。2021年度の吉田地区と常盤地区の男性は約4割と他地区に比べやや高くなっていた。尿糖の有所見者の割合も吉田地区と常盤地区の男性は約3割と他地区に比べ高くなっていた。

表9 尿検査結果(事業場別)

2020年度

事業所	受検者数		一次検査			
			蛋白尿		尿糖	
			有所見者	要管理者	有所見者	要管理者
			d2以上	c1以上	d2以上	c1以上
吉田	男	380	5	1	10	7
	女	248	3	0	2	2
常盤	男	175	2	2	5	5
	女	90	1	0	0	0
小串・附属病院	男	592	6	3	8	6
	女	1221	29	6	14	13
附属学校	男	14	0	0	1	1
	女	30	0	0	1	0
合計	男	1161	13	6	24	19
	女	1589	33	6	17	15
	計	2750	46	12	41	34

※蛋白尿・尿糖は(+)以上を所見ありとした。

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

表10 尿検査結果(事業場別)

2021年度

事業所	受検者数		一次検査			
			蛋白尿		尿糖	
			有所見者	要管理者	有所見者	要管理者
			d2以上	c1以上	d2以上	c1以上
吉田	男	377	15	3	9	9
	女	240	3	3	4	4
常盤	男	172	7	0	7	7
	女	92	1	1	1	1
小串・附属病院	男	585	10	5	7	6
	女	1243	27	5	15	10
附属学校	男	11	0	0	0	0
	女	9	0	0	0	0
合計	男	1145	32	8	23	22
	女	1584	31	9	20	15
	計	2729	63	17	43	37

※蛋白尿・尿糖は(+)以上を所見ありとした。

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

(5) 聴力検査

2020 年度及び 2021 年度の聴力検査結果を表 11、12 に示した。

小串・附属病院地区をのぞく他の地区において、高音域の有所見者の割合が多くなっている。年齢とともに高音域が聞こえにくくなることが要因として挙げられると考えられる。小串・附属病院地区においては、低音域の有所見者が多かったことから、今後の経過を注視していく必要がある。聴力検査の所見には、検査環境が少なからず影響していると思われる。聴力検査を実施する部屋は、設備の都合上、完全に防音できていないため、検査時の周囲の環境次第では誤判定してしまうことが否定できない。環境設備面に関しては、今後も引き続き、検査の正確性を確保するための工夫や配慮が必要と思われる。

表 11 聴力検査結果(事業場別)

2020 年度

事業所	受検者数		一次検査(オーディオメーターによる検査)			
			1000Hz		4000Hz	
			有所見者	要管理者	有所見者	要管理者
			d2以上	c1以上	d2以上	c1以上
吉田	男	283	22	0	33	0
	女	180	5	0	6	0
常盤	男	145	3	0	12	2
	女	68	0	0	0	0
小串・附属病院	男	352	11	3	20	4
	女	673	40	13	27	3
附属学校	男	13	1	0	2	0
	女	26	0	0	0	0
合計	男	793	37	3	67	6
	女	947	45	13	33	3
	計	1740	82	16	100	9

※d2 以上 (要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1 以上(要精査・要医療・要治療)

表 12 聴力検査結果(事業場別)

2021 年度

事業所	受検者数		一次検査(オーディオメーターによる検査)			
			1000Hz		4000Hz	
			有所見者	要管理者	有所見者	要管理者
			d2以上	c1以上	d2以上	c1以上
吉田	男	306	15	0	25	0
	女	180	1	0	3	0
常盤	男	144	4	0	12	1
	女	70	1	0	1	0
小串・附属病院	男	340	14	2	19	3
	女	688	45	20	28	5
附属学校	男	6	0	0	0	0
	女	6	0	0	0	0
合計	男	796	33	2	56	4
	女	944	47	20	32	5
	計	1740	80	22	88	9

※d2 以上 (要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1 以上(要精査・要医療・要治療)

(6) 胸部 X 線検査

2020 年度及び 2021 年度の胸部 X 線検査結果を表 13、14 に示した。

受診者の増加に伴い、有所見者も増加する傾向がみられる。精密検査の対象者で多い所見が結節影であり、浸潤影の所見が見られる。二次検査結果は直接 X 線撮影や、胸部 CT 検査にて異常なしとの結果であるが、中には腫瘍や肺炎、肺気腫などが判明し、治療が必要となってケースもあるため、二次精密検査は必ず受診する必要がある。胸部 X 線有所見者（要精査者以上）については、感染症等の観点からも必ず受診していただきたい。

表 13 胸部 X 線検査結果(事業場別)

2020 年度

事業場	受検者数		所見内訳			指導区分	
			肺野所見	肺野外 所見	結核 (疑い含)	有所見者 d2以上	要管理者 c1以上
吉田	男	378	19	6	0	24	1
	女	242	1	3	0	4	0
常盤	男	173	2	4	0	6	0
	女	89	2	1	0	3	0
小串・附属病院	男	589	10	8	0	13	1
	女	1194	8	17	0	25	1
附属学校	男	13	0	0	0	0	0
	女	30	2	2	0	4	0
合計	男	1153	31	18	0	43	2
	女	1555	13	23	0	36	1
	計	2708	44	41	0	79	3

※d2 以上（要観察・要精査） c1 以上(要精査)

表 14 胸部 X 線検査結果(事業場別)

2021 年度

事業場	受検者数		所見内訳			指導区分	
			肺野所見	肺野外 所見	結核 (疑い含)	有所見者 d2以上	要管理者 c1以上
吉田	男	379	14	9	0	19	0
	女	240	1	2	0	3	0
常盤	男	172	3	5	0	8	0
	女	92	2	1	0	3	0
小串・附属病院	男	583	5	7	0	11	1
	女	1212	12	20	0	28	6
附属学校	男	11	0	0	0	0	0
	女	10	0	0	0	0	0
合計	男	1145	22	21	0	38	1
	女	1554	15	23	0	34	6
	計	2699	37	44	0	72	7

※d2 以上（要観察・要精査） c1 以上(要精査)

(7) 血液検査

2020 年度及び 2021 年度の血液検査結果を表 15、16 に示した。

検査項目は、末梢血検査(赤血球、白血球、ヘマトクリット、ヘモグロビン)、肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))、脂質検査(LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪)、その他(血糖、血清アミラーゼ、尿酸)であるが、労働基準監督署に報告が必要である、貧血検査、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査の有所見者および要管理者を以下に示した。有所見率として最も高いのが血中脂質検査である。次いで肝機能検査の有所見者の割合が高くなっている。貧血検査に関しての有所見率は女性で高くなっている。

表 15 血液検査結果(事業場別) 2020 年度
d2 以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1 以上(要精査・要医療・要治療)

事業所	受検者数		一次検査							
			貧血検査		肝機能検査		血中脂質検査		血糖検査	
			有所見者	要管理者	有所見者	要管理者	有所見者	要管理者	有所見者	要管理者
			d2以上	c1以上	d2以上	c1以上	d2以上	c1以上	d2以上	c1以上
吉田	男	338	19	9	83	46	192	72	56	10
	女	218	12	7	31	9	92	30	11	3
常盤	男	161	7	5	42	22	94	27	29	9
	女	81	7	4	10	2	26	11	5	0
小串・附属病院	男	592	23	3	155	91	314	97	76	14
	女	1223	94	40	140	32	394	120	85	15
附属学校	男	13	0	0	3	3	8	5	3	1
	女	25	1	1	3	1	12	6	1	0
合計	男	1104	49	17	283	162	608	201	164	34
	女	1547	114	52	184	44	524	167	102	18
	計	2651	163	69	467	206	1132	368	266	52

表 16 血液検査結果(事業場別) 2021 年度

事業所	受検者数		一次検査							
			貧血検査		肝機能検査		血中脂質検査		血糖検査	
			有所見者	要管理者	有所見者	要管理者	有所見者	要管理者	有所見者	要管理者
			d2以上	c1以上	d2以上	c1以上	d2以上	c1以上	d2以上	c1以上
吉田	男	341	16	7	88	50	191	61	85	17
	女	207	14	7	22	7	72	27	19	1
常盤	男	155	6	1	45	24	91	24	41	8
	女	81	4	3	12	4	26	12	7	8
小串・附属病院	男	529	20	4	129	65	267	86	86	10
	女	1152	85	41	129	20	354	98	92	0
附属学校	男	7	0	0	1	0	7	1	1	0
	女	9	0	0	3	0	4	2	0	0
合計	男	1032	42	12	263	139	556	172	213	35
	女	1449	103	51	166	31	456	139	118	9
	計	2481	145	63	429	170	1012	311	331	44

※d2 以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1 以上(要精査・要医療・要治療)

(8) 心電図検査

2020 年度及び 2021 年度の心電図検査結果を表 17、18 に示した。表中の数字は、各所見に該当する有所見者の人数を延べ数で示している。

心電図検査は、原則として 35 歳及び 40 歳以上の者に実施しているが、39 歳未満の者でも、診察時に医師から指示があった者については検査を実施している。心電図所見の確定と指導区分は、2010 年度から、より効率良く判定を行うため、診察医が必要と認めた場合には、保健管理センター非常勤医師(循環器専門医)に判定を依頼している。受検者数は年々増加しているものの、有所見者数はそれに伴って増加する傾向はみられていない。

表 17 心電図検査結果(事業場別)

2020 年度

事業場	受検者数		所見内訳					一次検査	
			ST-T	Q波	高電位	不整脈	その他	指導区分	
			変化					有所見者 d2以上	要管理者 c1以上
吉田	男	283	6	0	4	13	52	51	6
	女	177	2	0	0	3	21	9	2
常盤	男	141	1	0	0	5	32	5	2
	女	68	1	0	0	1	10	3	1
小串・附属病院	男	335	6	0	2	25	33	25	4
	女	634	28	1	1	23	68	67	10
附属学校	男	12	0	0	0	1	2	2	0
	女	25	0	0	0	1	2	2	0
合計	男	771	13	0	6	44	119	83	12
	女	904	31	1	1	28	101	81	13
	計	1675	44	1	7	72	220	164	25

※ ST-T 変化には、ST 低下(上昇)・陰性 T・平低 T・高い T 波を含む

※ 不整脈には、上室性期外収縮・心室性期外収縮・房室ブロック・心房細動・WPW 症候群・ブルガダ症候群を含む

表 18 心電図検査結果(事業場別)

2021 年度

事業場	受検者数		所見内訳					一次検査	
			ST-T	Q波	高電位	不整脈	その他	指導区分	
			変化					有所見者 d2以上	要管理者 c1以上
吉田	男	296	4	1	1	19	54	37	6
	女	173	3	0	0	9	24	16	0
常盤	男	138	1	0	0	6	22	6	1
	女	69	2	0	0	4	9	2	1
小串・附属病院	男	328	3	1	0	17	43	35	4
	女	645	27	1	0	23	62	44	9
附属学校	男	5	0	0	0	0	2	1	0
	女	6	0	0	0	1	0	0	0
合計	男	767	8	2	1	42	121	79	11
	女	893	32	1	0	37	95	62	10
	計	1660	40	3	1	79	216	141	21

※ ST-T 変化には、ST 低下(上昇)・陰性 T・平低 T・高い T 波を含む

※ 不整脈には、上室性期外収縮・心室性期外収縮・房室ブロック・心房細動・WPW 症候群・ブルガダ症候群を含む

2. 特定業務従事者健康診断

1) 対象と概要

保健管理センターでは、労働安全衛生規則第 45 条に基づき、年に 2 回、規定の業務(労働安全衛生規則第 13 条第 1 項第 2 号*)に従事する職員に対し、特定業務従事者健康診断を行っている。

各地区の実施時期、及び実施場所は表 19 のとおりであるが、健診項目は定期健康診断と同様のため、第 1 回目は定期健康診断と合わせて行っている。また、第 2 回目の項目は、身長・体重、血圧、視力、聴力、尿検査であり、胸部 X 線検査、血液検査、心電図検査は医師の判断により省略可能としているが、必要に応じて行う場合もある。

2020 年度、2021 年度における各事業場の対象者数(延べ数)は、表 20～21 のとおりである。

表 19 各地区の実施日および実施場所

地区名	実施時期		実施場所
	1 回目	2 回目	
吉田	7 月下旬～8 月上旬	1 月下旬～2 月上旬	保健管理センター
常盤	8 月下旬～9 月上旬	1 月下旬～2 月上旬	工学部保健室 (保健管理センター工学部分室)
小串 附属病院	9 月中旬	2 月中旬～3 月上旬	医学部医心館 (保健管理センター医学部分室)

表 20 特定業務従事者健康診断対象者

2020 年度

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	計
吉田	0	1	26	24	0	0	0	0	0	12	15	5	7	55
常盤	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	8	3	0	17
小串	0	1	10	11	0	0	0	0	0	7	2	4	12	47
附属病院	0	6	141	1	0	0	22	2	0	689	1	5	214	1081

表 21 特定業務従事者健康診断対象者

2021 年度

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	計
吉田	0	1	21	22	0	0	0	0	0	9	14	6	6	51
常盤	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	9	1	0	11
小串	1	1	17	12	0	0	0	0	0	6	6	1	8	42
附属病院	0	26	113	1	0	0	22	0	0	778	0	1	122	1062

*労働安全衛生規則第 13 条第 1 項第 2 号

イ	多量の高熱物体を取り扱う業務及び著しく暑熱な場所における業務
ロ	多量の低温物体を取り扱う業務及び著しく寒冷な場所における業務
ハ	ラジウム放射線、エックス線その他の有害放射線にさらされる業務
ニ	土石、獣毛等のじんあい又は粉末を著しく飛散する場所における業務
ホ	異常気圧下における業務
ヘ	さく岩機、鋳打機等の使用によって、身体に著しい振動を与える業務
ト	重量物の取扱い等重激な業務
チ	ボイラー製造等強烈な騒音を発する場所における業務
リ	坑内における業務
ヌ	深夜業を含む業務
ル	水銀、砒素、黄りん、弗化水素酸、塩酸、硝酸、硫酸、青酸、か性アルカリ、石炭酸 その他これらに準ずる有害物を取り扱う業務
ヲ	鉛、水銀、クロム、砒素、黄りん、弗化水素、塩素、塩酸、硝酸、亜硫酸、硫酸、一酸化炭素、二硫化炭素、青酸、ベンゼン、アニリンその他これらに準ずる有害物のガス、蒸気又は粉じんを飛散する場所における業務
ワ	病原体によって汚染のおそれが著しい業務

2) 方法と手順

健診対象者の調査は、2019年度まで健康診断の希望項目(便潜血反応検査、喀痰検査等)の調査と合わせて、安全衛生対策室及び各部局の健康診断担当係が実施していたが、2020年度より事務作業の簡略化のため希望調査の一部をWeb化し、紙面による調査が行われなくなった。そのため健診対象者調査は、各事業場の健康診断担当係と専任衛生管理者等により、それぞれの実情に合った方法で行われている。

調査内容は有害業務従事の有無、従事している場合は、その業務内容及び頻度、そして複数該当する場合は、主として従事する有害業務は何か、である。調査結果は各事業場の専任衛生管理者等が確認し、主に週1回以上、有害業務に従事していると回答した者を対象に、健康診断を実施している。

実施方法は、ほぼ定期健康診断と同様であり、対象者に事前に問診票を送付し、健診当日までに記入し持参するよう指示している。しかし、受診者が少ない場合は事前に配布せず、健康診断時受診時に記入してもらうこともある。

また、第2回目の附属病院の特定業務従事者(看護師)は各病棟で必要な検査を行い、検査結果を問診票に記入して保健管理センターに送付してもらっている。各検査結果と問診票の記載内容は保健管理センター医師が確認し、有所見者には指定された期間に保健管理センターで診察を受けるよう指示している。本来であれば全員に診察をすることが望ましいが、限られた人員と日数で行っているため、対象を絞って実施せざるを得ないのが現状である。

3) 受診状況

2020年度及び2021年度の特定業務従事者健康診断の受診状況を、表22～23に示した。表中の数字は、実施した検査の有所見者数を示している(-は未実施)。前述のとおり、第1回の特定業務従事者健康診断実施状況は定期健康診断と合わせて実施しているため、ここでは第2回目のみの受診状況を示す。

健康診断結果は、各事業場専任衛生管理者がとりまとめた上で、所轄の労働基準監督署に報告している。

表 22 第2回特定業務従事者健康診断 受診状況

2020年度

	受診者	実施項目の有所見者数							総合所見	
		聴力検査 1000Hz	聴力検査 4000Hz	聴力検査 (その他の方法)	血圧	尿糖	尿蛋白	心電図	有所見 者数	要精査 以上
吉田	53	0	0	0	12	0	0	-	35	3
常盤	17	0	0	0	3	1	0	-	11	0
小串	47	1	1	0	8	1	1	-	10	2
附属病院	1069	2	3	0	54	6	15	-	557	16

表 23 第2回特定業務従事者健康診断 受診状況

2021年度

	受診者	実施項目の有所見者数							総合所見	
		聴力検査 1000Hz	聴力検査 4000Hz	聴力検査 (その他の方法)	血圧	尿糖	尿蛋白	心電図	有所見 者数	要精査 以上
吉田	51	0	0	0	11	1	1	-	37	1
常盤	10	0	1	0	3	1	0	-	6	0
小串	39	0	1	0	3	1	1	-	31	0
附属病院	1068	2	2	3	59	10	7	-	555	3

3. 特殊健康診断(電離放射線)

1) 対象と概要

保健管理センターでは、「国立大学法人山口大学放射線障害予防規定」に基づき、学内の放射線取扱者の登録申請（更新を含む）を行った職員及び学生を対象に健康診断を実施している（医学部附属病院で放射線を取扱う職員は、附属病院が実施し、結果は保健管理センター所長にも送付）。この健康診断を受診することは、教育訓練の受講とともに学内で放射線を取り扱うための必須条件となっている。

この健康診断は定期的に年2回実施しており、実施時期は原則として第1回目は7月上旬、第2回目は2月上旬である。小串事業場や吉田事業場（一部）では、上記の健康診断実施期間外（4月、10月頃）に、臨時で健康診断を実施することもある。これは、新規・中途採用者など、定期の実施期間以前から放射線業務に従事する必要がある者に対し、期日を定めて行っている例外的措置である。

なお、外部医療機関等にて、これと同等の健康診断を受診した場合、その結果を証明する文書の提出をもって、この健康診断の受診に代えることもできる。

健康診断の実施項目は、表24に示すとおりである。なお、法令に定める検査項目のうち、業務内容や被ばく歴、自覚症状等の調査結果、および過去の放射線健康診断の受診結果のもと、法令等に基づいた医師の個別の判断により一部の検査項目を省略することもできることとされている。

表24 放射線健康診断 法定検査項目

	被ばく歴 自覚症状等の調査	血液※	皮膚	白内障
新規受診	○	○	○	△
定期受診	○	△	△	△

※白血球数及び白血球百分率の検査、赤血球数及び血色素量又はヘマトクリット値の検査

○：必須項目 △：法令等に基づき医師の判断により省略することができる項目

2) 方法と手順

健康診断に先立ち、問診票を各事業場の健康診断担当係が対象者へ配布し、本人による記入、管理者（指導教員・管理室長等）が記載内容を確認した後、担当係が回収を行い、保健管理センターに送付される。

この問診票をもとに、保健管理センター医師が被ばく歴や自覚症状、過去の検査結果や本人の検査希望等をチェックし、検査項目省略の可否を個別に決定している。検査実施対象者への健康診断日時等の案内については、担当係より通知される。

検査（血液・皮膚）は各地区保健管理センターにて実施し、検査結果及びそれに基づく医師の診断、および就業上の措置に関する産業医等の意見は、担当係を通じて対象者へ通知される。有所見者に対しては、必要に応じて外部医療機関への紹介を行い、結果報告を求めることもある。

（健康診断結果に基づく就業上の措置については、上記の各事業場産業医等による「医師の意見」等を参考に事業場の責任において「決定」され、本人に通知される。）

なお、職員に関しては、労働安全衛生法に基づく健康診断結果報告書を各事業場専任衛生管理者が作成し、各事業場の産業医の確認の上で、安全衛生対策室を通じ所轄の労働基準監督署に提出している。

3) 受診状況

2020年度及び2021年度の放射線健康診断受診状況を表25～32に示した。

毎年度、第1回は検査対象者（省略否判定者）数が第2回に比べ多い傾向にあるが、構成員の入れ替わりにより新規登録者が多いことが主要因である。

表 25 第 1 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2020 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	9	0	9	9	3
	学生	-	-	-	-	-
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
小串	職員	6	0	6	6	0
	学生	3	0	3	3	0
合計	職員	15	0	15	15	3
	学生	3	0	3	3	0

表 26 第 1 回電離放射線健康診断受診状況 2020 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	78	63	15	14 _(1名取り下げ)	2
	学生	163	94	69	69	16
常盤	職員	31	29	2	2	0
	学生	185	98	87	85 _(2名取り下げ)	9
小串	職員	68	66	2	2	0
	学生	12	11	1	1	1
合計	職員	177	158	19	18	2
	学生	360	203	157	155	26

表 27 第 2 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2020 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	1	0	1	1	0
	学生	-	-	-	-	-
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
小串	職員	3	0	3	3	0
	学生	1	0	1	1	0
合計	職員	4	0	4	4	0
	学生	1	0	1	1	0

表 28 第 2 回電離放射線健康診断受診状況 2020 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	76	66	10	10	4
	学生	186	137	49	48 _(1名取り下げ)	21
常盤	職員	30	26	4	4	0
	学生	184	171	13	13	5
小串	職員	68	66	2	2	0
	学生	12	11	1	1	1
合計	職員	174	158	16	16	4
	学生	382	319	63	62	27

表 29 第 1 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2021 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	3	0	3	3	1
	学生	2	0	2	2	0
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
小串	職員	7	0	7	7	1
	学生	2	0	2	1 (1名未受診)	0
合計	職員	10	0	10	10	1
	学生	4	0	4	3	0

表 30 第 1 回電離放射線健康診断受診状況 2021 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	73	61	12	11 (1名取り下げ)	5
	学生	161	93	68	68	11
常盤	職員	32	28	4	4	1
	学生	203	108	95	95	5
小串	職員	67	64	3	3	1
	学生	11	8	3	3	1
合計	職員	172	153	19	18	7
	学生	375	209	166	166	17

表 31 第 2 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2021 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	1	0	1	1	0
	学生	-	-	-	-	-
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
小串	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
合計	職員	1	0	1	1	0
	学生	-	-	-	-	-

表 32 第 2 回電離放射線健康診断受診状況 2021 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	73	63	10	10	4
	学生	182	148	34	33 (1名未受診)	13
常盤	職員	32	31	1	1	1
	学生	199	193	6	6	1
小串	職員	67	65	2	2	0
	学生	9	8	1	1	0
合計	職員	172	159	13	13	5
	学生	390	349	41	40	14

4. 特殊健康診断(有機溶剤・特定化学物質)

1) 対象と概要

有機溶剤中毒予防規則(以下有機則)、及び特定化学物質等障害予防規則(以下特化則)等に基づき、規定された薬品を常時取り扱う職員を対象に、年2回、特殊健康診断を実施している。

実施時期に関しては、基本的に放射線健康診断と同様の7月上旬頃(第1回)、2月上旬頃(第2回)であるが、事業場によって多少異なっている。また、健康診断項目は薬品ごとに異なるため、それぞれの規則に定められている検査項目に従っている。2020年7月に検査項目の一部が見直されたことから、問診票中に「作業条件の調査」(作業条件の簡易の調査)の項目を追加した。また、問診票には薬品に応じた検査項目が表示されるようになってきているが、見直し後の項目が表示されるようにシステム修正を行なった。

大学は一般企業の工場等とは違い、少量多種の薬品を取り扱い、使用方法や、使用頻度が一定ではないことなどから、対象者の選定は特に困難である。また、取り扱う薬品によって求められる検査項目が異なるため、健康診断の準備や事後整理が複雑であるが、受診者一人一人の状況を確認しながら実施している。

2) 方法と手順

健康診断に先立ち、有機溶剤及び特定化学物質の使用状況をWeb調査もしくは紙媒体による調査を行う。業務の常時性の判断基準として、該当薬品を週に1回以上使用していることを目安に対象者を選定している。ただし、週1回未満の使用状況でも健康診断受診を希望する者や、事業場が指定するものについては、産業医、衛生管理者が使用状況を確認し、必要に応じて健診を実施することになっている。

また、使用薬品によって法定の問診項目や検査項目が異なることから、健康診断当日までに各受診者に対応した内容の問診票を作成しているが、他の健診に比べて対象者が少ないため、問診票は事前に配布せず、健康診断受診の際に手渡し、それぞれに必要な情報の記入や検査項目を受診してもらっている。

なお、特殊健診対象者は、原則として特定業務従事者健康診断(検査項目は一般健康診断と同じ)の受診対象者でもあるが、受診時の混乱を避けるため、特定業務従事者健康診断と特殊健康診断は原則として別日程で計画しているが、状況次第で、両健診を同時に実施する場合もある。

3) 受診状況

2020年度及び2021年度の有機溶剤健康診断・特定化学物質健康診断の実施人数及び結果を表33～40に示した。表中の数字は、各検査における受診者数を示している。有所見者数は、診察での他覚所見を除く実施項目で要精査以上に該当する所見があった者の数である。受診対象者の業務内容は、いずれも試験研究である。

なお、労働安全衛生法の求める健康診断結果報告書については、各事業場専任衛生管理者が作成し、産業医が確認した上で、安全衛生対策室を経由して所轄の労働基準監督署に提出している。

表 33 第 1 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 2020 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					作業条件 の調査	有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物		
吉田	10	10	10	8	0	0	0	10	0
常盤	10	10	10	10	0	0	1	10	0
小串	7	7	7	7	0	0	4	0	0
附属病院	10	10	10	10	0	0	8	0	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 34 第 2 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 2020 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					作業条件 の調査	有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物		
吉田	11	0	11	11	0	0	0	11	0
常盤	9	9	9	0	0	0	3	9	0
小串	5	5	5	5	0	0	5	5	0
附属病院	10	10	10	10	0	0	8	0	0

※実施項目のうち9「尿代謝産物」は延べ数

表 35 第 1 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 2021 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					作業条件 の調査	有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物		
吉田	10	10	10	0	0	0	0	10	0
常盤	9	9	9	0	0	2	0	9	0
小串	7	7	7	7	0	0	5	7	0
附属病院	10	10	10	10	0	0	8	0	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 36 第 2 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 2021 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					作業条件 の調査	有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物		
吉田	9	9	9	9	0	0	0	9	0
常盤	8	8	8	0	0	0	2	8	0
小串	7	7	7	7	0	0	5	7	0
附属病院	9	9	9	9	0	0	7	0	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 37 第 1 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位: 人)

2020 年度

業務コード	002	104	201	211	221	230	233	237	245	248	249	251	有所見
薬品名	ベンゼン(過去)	オルトトリシン(過去)	アクリルアミド	クロム酸(過去(含む))	重クロム酸(過去(含む))	ベンゼン(過去(含む))	マンガ	ニッケル化合物	クロホルム	1,2-ジクロロエタン	ジクロロメタン	スチレン	
吉田			1										0
常盤								1					0
小串	1	1		2	2	1							0
附病				3	3		2						0

表 38 第 2 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位: 人)

2020 年度

業務コード	002	104	201	211	221	230	233	237	245	248	249	251	有所見
薬品名	ベンゼン(過去)	オルトトリシン(過去)	アクリルアミド	クロム酸(過去(含む))	重クロム酸(過去(含む))	ベンゼン(過去(含む))	マンガ	ニッケル化合物	クロホルム	1,2-ジクロロエタン	ジクロロメタン	スチレン	
吉田			2										1*
常盤							1	1	1	1	1		0
小串		1				1							0
附病				1	1								0

※皮膚所見(アトピー性皮膚炎、乾燥肌によるもの)で薬品関連性はないと判断

表 39 第 1 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位: 人)

2021 年度

業務コード	002	104	201	211	221	230	233	237	245	248	249	251	有所見
薬品名	ベンゼン(過去)	オルトトリシン(過去)	アクリルアミド	クロム酸(過去(含む))	重クロム酸(過去(含む))	ベンゼン(過去(含む))	マンガ	ニッケル化合物	クロホルム	1,2-ジクロロエタン	ジクロロメタン	スチレン	
吉田			1										0
常盤								1			2	1	0
小串		1			1	1			1				0
附病				2	2								0

表 40 第 2 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位: 人)

2021 年度

業務コード	002	104	201	211	221	230	233	237	245	248	249	251	有所見
薬品名	ベンゼン(過去)	オルトトリシン(過去)	アクリルアミド	クロム酸(過去(含む))	重クロム酸(過去(含む))	ベンゼン(過去(含む))	マンガ	ニッケル化合物	クロホルム	1,2-ジクロロエタン	ジクロロメタン	スチレン	
吉田			1										0
常盤											1	1	0
小串		1			1	1							0
附病				3	2								0

5. がん検診等

1) 対象と概要

山口大学では、健康増進法第 19 条の 2 に基づく健康増進事業として位置づけられているがん検診(肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)を 40 歳以上の希望者に対して実施している(子宮がんについては 20 歳以上の女性職員)。がん検診に関しては、安全衛生対策室が実施主体であり、安衛室が実施時期や方法などの計画立案を行い、外部業者に委託契約して検診を実施している。2016 年度に前立腺がん検診を新たに追加し、一部個人負担が導入された。2017 年度には、がん検診の申し込み手順及び受診方法が変更され、安衛室で作成・運用している Web ページから受診希望者各自で申し込みすることで、事務作業の簡素化が図られた。また、この他胃がんリスク検診や指導勧奨に基づく特殊健康診断として VDT 健康診断を実施している。保健管理センターでは、検診会場の提供及び事前準備(設営)、健診結果の保管管理を行っている。

各がん検診の対象者と検診項目を表 41 に、2020 年度及び 2021 年度の各地区の実施時期及び実施場所を表 42、43 に示した。

表 41 がん検診等の対象者および検査内容

検診項目	対象者	検査内容
肺がん検診	40歳以上	問診、胸部X線(間接)、喀痰検査(たばこ指数(BI)600 以上あるいは血痰既往の希望者)
大腸がん検診	40歳以上	免疫便潜血反応検査(2日法)
胃がん検診	40歳以上	問診、胃部X線検査
胃がんリスク検診	40歳以上	血液検査(萎縮性胃炎検診<ペプシノーゲン法>) ※定期健診時に同時実施(2017 年度から)
前立腺がん検診	40歳以上 男性職員	血液検査 ※定期健診時に同時実施(2017 年度から)
乳がん検診	40歳以上 女性職員	問診、視触診、乳房 X 線検査(マンモグラフィ) ※2年に1回(生まれ年で対象者を調整)
子宮がん検診	20歳以上 女性職員	問診、視診、内診、細胞診(子宮頸部) ※2年に1回 (生まれ年で対象者を調整)
VDT 健康診断	VDT 作業に従事する全職員	問診、眼の検査(視力、眼位、調節機能)、握力検査

表 42 各地区の実施日および実施場所

2020 年度

検診項目		吉田	常盤	小串	光
肺がん	実施日	7/21～7/31	8/19, 20, 24	9/8～17	4/6
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
大腸がん	実施日	7/21～7/31	8/19, 20, 24	9/8～17	4/6
	場所	保健管理センター ※検体回収のみ	工学部保健室 ※検体回収のみ	医学部医心館 ※検体回収のみ	附属光中学校保健室 ※検体回収のみ
胃がん	実施日	8/21, 25	8/27	8/24, 28	8/26
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
胃がんリスク	実施日	7/21～7/31	8/19, 20, 24	9/8～17	4/6
	場所	保健管理センター ※採血のみ	工学部保健室 ※採血のみ	医学部医心館 ※採血のみ	附属光中学校保健室 ※採血のみ
前立腺がん	実施日	7/21～7/31	8/19, 20, 24	9/8～17	4/6
	場所	保健管理センター ※採血のみ	工学部保健室 ※採血のみ	医学部医心館 ※採血のみ	附属光中学校保健室 ※採血のみ
乳がん	実施日	12/16, 22	12/24	12/17, 21, 23, 25	12/18
	場所	保健管理センター横 マンモグラフィ：検診車 視触診：リフレッシュルーム	産学連携棟横 マンモグラフィ：検診車 視触診：工学部保健室	医学部医心館前 マンモグラフィ：検診車 視触診：医学部医心館	附属光中学校保健室 マンモグラフィ：検診車 視触診：中学校保健室
子宮がん	実施日	12/16, 22	12/24	12/17, 21, 23, 25	12/18
	場所	保健管理センター横 検診車	産学連携棟横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
VDT 健診	実施日	8/25	8/27	8/28	-
	場所	保健管理センター	工学部保健室	医学部医心館	-

表 43 各地区の実施日および実施場所

2021 年度

検診項目		吉田	常盤	小串	光
肺がん	実施日	7/20～7/30	8/19, 20, 23	9/7～16	4/6
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
大腸がん	実施日	7/20～7/30	8/19, 20, 23	9/7～16	4/6
	場所	保健管理センター ※検体回収のみ	工学部保健室 ※検体回収のみ	医学部医心館 ※検体回収のみ	附属光中学校保健室 ※検体回収のみ
胃がん	実施日	8/30, 9/1	8/27	9/21, 22	8/26
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
胃がんリスク	実施日	7/20～7/30	8/19, 20, 23	9/7～16	4/6
	場所	保健管理センター ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	工学部保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	医学部医心館 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	附属光中学校保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)
前立腺がん	実施日	7/20～7/30	8/19, 20, 23	9/7～16	4/6
	場所	保健管理センター ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	工学部保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	医学部医心館 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	附属光中学校保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)
乳がん	実施日	12/6, 21	12/20	12/7, 8, 22, 23	12/20
	場所	保健管理センター横 マンモグラフィ：検診車 視触診：リフレッシュルーム	工学部保健室横 マンモグラフィ：検診車 視触診：工学部保健室	医学部医心館前 マンモグラフィ：検診車 視触診：医学部医心館	附属光中学校保健室 マンモグラフィ：検診車 視触診：中学校保健室
子宮がん	実施日	12/6, 21	12/20	12/7, 8, 22, 23	12/20
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
VDT 健診	実施日	8/30	8/27	9/22	8/26
	場所	保健管理センター	工学部保健室	医学部医心館	附属光中学校保健室

2) 受診状況

山口大学では、健康増進法第 19 条の 2 に基づく健康増進事業として位置づけられているがん検診(肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)を 40 歳以上の希望者に対して実施している(子宮がんについては 20 歳以上の女性職員)。

表 44 各種がん検診受診結果(事業場別)

2020 年度

検診項目	事業場	受診者数	有所見者数	指導区分			備考
				異常なし	要観察	要精査	
肺がん	吉田	443	22	421	22	0	※喀痰検査件数 吉田 14 件 常盤 13 件 小串・附属病院 39 件 附属学校 2 件
	常盤	208	7	201	5	2	
	小串・附属病院	892	35	857	33	2	
	附属学校	35	4	31	4	0	
大腸がん	吉田	91	4	87	0	4	※便潜血陽性 →有所見者
	常盤	56	5	51	0	5	
	小串・附属病院	243	9	234	0	9	
	附属学校	21	0	21	0	0	
胃がん	吉田	76	15	61	14	1	※要精査内訳 ※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	35	7	28	6	1	
	小串・附属病院	113	9	104	7	2	
	附属学校	2	0	2	0	0	
前立腺がん	吉田	45	0	45	0	0	※PSA 陽性(4.1 以上) →有所見者
	常盤	35	1	34	0	1	
	小串・附属病院	61	0	61	0	0	
	附属学校	5	0	5	0	0	
乳がん	吉田	47	5	42	4	1	※指導区分は視触診及びマンモグラフィー検査との総合判定 ※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	18	1	17	0	1	
	小串・附属病院	198	19	179	12	7	
	附属学校	4	0	4	0	0	
子宮がん	吉田	49	5	44	0	5	※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	20	1	19	0	1	
	小串・附属病院	234	10	224	0	10	
	附属学校	2	1	1	0	1	

表 45 胃がんリスク検診受診結果(事業場別)

2020 年度

検診項目	事業場	受診者数	リスク判定結果				備考
			A	B	C	D	
胃がん リスク検診	吉田	48	43	2	3	0	
	常盤	33	20	11	1	1	
	小串・附属病院	138	109	23	6	0	
	附属学校	8	7	1	0	0	

表 46 VDT 健診受診結果(事業場別)

2020 年度

検診項目	事業場	受診者数	判定区分			備考
			異常なし	経過観察	業務不適	
VDT 健診	吉田	13	10	3	0	
	常盤	11	2	9	0	
	小串・附属病院	27	21	6	0	
	附属学校	4	2	2	0	

表 47 各種がん検診受診結果（事業場別）

2021 年度

検診項目	事業場	受診者数	有所見者数	指導区分			備考
				異常なし	要観察	要精査	
肺がん	吉田	455	20	435	20	0	※喀痰検査件数 吉田 6 件 常盤 10 件 小串・附属病院 39 件 附属学校 0 件
	常盤	203	9	194	9	0	
	小串・附属病院	905	32	873	27	5	
	附属学校	12	0	12	0	0	
大腸がん	吉田	135	5	130	0	5	※便潜血陽性 →有所見者
	常盤	59	0	59	0	0	
	小串・附属病院	289	5	284	0	5	
	附属学校	3	0	3	0	0	
胃がん	吉田	74	13	61	12	1	※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	44	2	42	0	2	
	小串・附属病院	115	21	94	18	3	
	附属学校	3	0	3	0	0	
前立腺がん	吉田	64	1	63	0	1	※PSA 陽性(4.1 以上) →有所見者
	常盤	39	1	38	0	1	
	小串・附属病院	69	1	68	0	1	
	附属学校	1	0	1	0	0	
乳がん	吉田	66	1	35	0	1	※指導区分は視触診及びマンモグラフィー検査との総合判定 ※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	26	2	24	0	2	
	小串・附属病院	205	20	185	3	17	
	附属学校	3	0	3	0	0	
子宮がん	吉田	74	1	73	0	1	※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	16	1	15	0	1	
	小串・附属病院	275	10	265	0	10	
	附属学校	4	0	4	0	0	

表 48 胃がんリスク検診受診結果（事業場別）

2021 年度

検診項目	事業場	受診者数	リスク判定結果				備考
			A	B	C	D	
胃がん リスク検診	吉田	80	71	6	3	0	
	常盤	36	27	7	1	1	
	小串・附属病院	161	134	20	5	2	
	附属学校	3	1	1	1	0	

表 49 VDT 健診受診結果（事業場別）

2021 年度

検診項目	事業場	受診者数	判定区分			備考
			異常なし	経過観察	業務不適	
VDT 健診	吉田	11	11	0	0	
	常盤	19	17	2	0	
	小串・附属病院	25	22	3	0	
	附属学校	1	1	0	0	